

平和力喪失 の時代に 平和を創る ということ・3

池田丈佑（東北学院大学 法学部）

本日の
ねらい

「平和について考える」ことになじんできた

みんなは平和をどう考えているの？

それでどうやって（進めるの）？

3つの
問い
三度

「平和」とは何か

なぜ今「平和」をさけぶのか

さけばばよいのか

これまで
やって
きたこと

「つくる」「つかう」「つかむ」

まず「つかむ」をやった
（なので次は「つくる」）

市民アンケートの実施
（「わたしの平和」から「わたしたちの平和」へ）

つくる

「わたしの平和」から
「わたしたちの平和」へ

その意見を
どう特定（＝決め）する？

多く寄せられる考えと
そうでない考え

「多数決」ゆえに
「少数」となった声をどう入れるか

ここからはワークです

11月を
思い出す

Q1

衣食住

周り
との
関わり

Q2

災害

格差
貧困

拘束や
排除

2月を
思い出す

Q1

- ・便利
- ・めぐまれている
- ・情報化

- ・これまでにない
- ・予測不能
- ・苦闘

Q2

- ・格差社会
- ・人口減少
- ・アフターコロナ
- ・相互理解の不足
- ・価値観の違い

Q3

- ・相互理解、認め合い
- ・人のつながり、思いやり
- ・安定（＝成長、心の－）

今日の ワーク

①声をきく・1
私たちにとって平和とは何か

②声をきく・2
平和のために私たちは何をすべきか

③声をきく・3
①②の過程でこぼれ落ちたものは何か

ご清聴ありがとうございました

宿題

「妄想」してください。
この冬できあがる「宣言」を使って、
どんな取り組みができるでしょうか？

ポイント1 制約を考えない
ポイント2 複数の人で行う催し
ポイント3 市役所は直接関わらない

分量は問いませんが、
「誰が」「宣言をどう使って」「何をする」か
を必ず書いて下さい。